

### Ⅲ 資 料

衛生学・公衆衛生学及び関連講座のカリキュラムに  
関するアンケート調査票

各位

衛生学・公衆衛生学および関連講座のカリキュラムに関するアンケート

1998.11.20

冠省

教育協議会では、1992（平成4）年にコアカリキュラム作成の基礎資料作成を目的として、医育機関のカリキュラム調査を実施いたしました。委員会で検討を重ね、1995年最終案（別添）が公表されました。この間、その後、大学設置基準の大綱化、医師国家試験出題基準の改訂など大きな変化があり、ほとんどの医育機関において大幅なカリキュラムの変更が行われてきております。そこで、コアカリキュラムがどのような形で、衛生学・公衆衛生学およびその関連科目に利用されているか、また今後の問題点はどこにあるのかを知る目的で、同封のような調査票をお送りいたします。ご多忙中恐縮ではございますが、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

教授個人でご回答いただく部分と、関連講座と協議してご記入いただく部分を分けてありますのでご留意下さい。回答期限は12月22日とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

なお、スペースの不足した部分は、別な用紙に記入して、添付下さっても結構です。

不一

衛生学・公衆衛生学教育協議会「卒前教育カリキュラム委員会」

担当世話人： 稲葉 裕  
川口 毅  
清水 英佑  
近藤 健文  
多田羅 浩三

連絡先：稲葉 Tel 03-5802-1046(直通)；Fax 03-3812-1026  
e-mail:yinaba@med.juntendo.ac.jp

追) 教育協議会のアンケートにタイミングが一致しましたので、少し量が増えることとなりますが、小生の責任で調査することになりました内容を追加させていただきました。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

文部省事業全国医学部長会議「コア・カリキュラム」研究・開発事業  
「社会 医学教育カリキュラム」検討部会

部会世話人代表：  
群馬大医、公衆衛生学 講座  
教授 鈴木 庄亮

Tel：027-220-8010(直通)；FAX：027-220-8016  
e-mail：ssuzuki@sb.gunma-u.ac.jp

## 質問票（教授個人分）

大学名；  
教室名；  
教授ご氏名；

1. 最近、衛生学・公衆衛生学講座等の統合の傾向が生じていますがこの問題について次の質問にお答え下さい。

1) 貴大学の衛生学・公衆衛生学講座および関連講座の講座の名称および形態はどうなっていますか。  
(例 衛生学/公衆衛生学：2講座2教授制、衛生・公衆衛生学：1講座2教授制、等)

①そのような講座形態をとられたのはいつからですか。

( ) 年前から

②そのような講座形態をとった動機（理由）はなんですか。

③そのような講座形態をとったことによる、メリット・デメリットを教えてください。

メリット：

デメリット：

④先生はこのような講座形態は望ましいと考えられますか。

⑤名称についてはどのように思われますか。変更を希望される場合は、望ましい名称がありましたらお知らせ下さい。

2) このような形態をとる背景には衛生学（関連講座）と公衆衛生学（関連講座）のアイデンティティーの問題があるとの指摘がありますか、これについてそれぞれのアイデンティティーとはどのようなものと考えられますか。

3) 衛生学・公衆衛生学の独自性・必要性（例、地域社会への貢献など）のアピールをすべきとの意見がありますが具体的にどのようにしたらよいとお考えですか。

4) 教員の任用基準（教授採用のガイドライン）および評価基準を審議すべきとの意見がありますが、これについての意見を下さい。

- 5) 衛生学、公衆衛生学講座を他の科目（例えば免疫、情報科学など）に振替えようとする様な動きがありますか。それについてのご意見を下さい。
- 6) 各講座の人材リストを教授間で交換し人事の交流資料とするという意見がありますがどうお考えですか。
- 7) 医科大学の学部長や学長に対して教育協議会として意見書を出すべきとの意見がありますがどうお考えですか。

2. 最近のカリキュラムにおいて衛生学・公衆衛生学関連の授業が3年生以下に低学年化していることについて次の質問にお答え下さい。

- 1) 低学年化したことによって生じたメリット・デメリットについて教えて下さい。

メリット：

デメリット：

- 2) 低学年化について総合的にどう判断されていますか。

- 3) 低学年化の動機（理由）はなんですか。

- 4) 低学年化によって学生の理解度はどうですか。

### 3. その他

- 1) 1995年に衛生学公衆衛生学教育協議会（中村健一委員長）で検討、公表された衛生学公衆衛生学コア・カリキュラム（同封の調査票にあり）をその後参考にされ、何らかの形であるいは一部分を貴カリキュラムにとり入れたり致しましたか。  
お答え.....

- 2) 医学教育における社会医学として、従来の衛生学・公衆衛生学以外に現在どのような分野が必要だと思えますか。必要とお考えのものに○をつけて下さい。あるいはご記入下さい。コメントもお願いします。

1. 医学情報処理学、疫学、生物統計学    2. 医療管理学、医療科学    3. 病院管理学、地域保健医療学、健康政策学    4. 医療経済学、医療社会学    5. 環境医学、環境保健学、環境科学    6. 保健福祉学、社会福祉学    7. 環境医学、環境保健学    8. 予防医学、
  9. 国際保健学    10. 行動科学、保健行動学    12. その他.....
- コメント.....

3.) 衛生学・公衆衛生学の教授・助教授の必要資格要件として、次の要件の重みづけ(0から100%)をして下さい。

1. 衛生学・公衆衛生学領域の業績 0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100%
  2. 衛生学・公衆衛生学領域以外でもインパクト・アクト 0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100%
  3. 衛生学・公衆衛生学領域の教育歴、教育活動 0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100%
  4. 学内委員会等の活動 0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100%
  5. 社会貢献、社会活動、フィールド活動等 0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100%
  6. 知性、創造性、判断力、リーダーシップ、人柄など 0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100%
- コメント.....

4) 社会医学という観点から臨床教育との関係(例えば統合講義など)はどのようになっていますか。

5) 卒前教育を卒後研修と併せて(スクールオブパブリックヘルスのように)検討すべきであるとの意見がありますがどのようにお考えですか。

6) もっと実務的な教育(例えば産業医学や環境医学など)を重視すべきという意見がありますがどうお考えですか。

7) 臨床疫学・医療評価・研究デザイン・バイオスタティスティックなどをコアカリキュラムに加えるべきという意見がありますがどうお考えですか。またそれは何年次で教えるとよいと思いますか。

8) 国家試験とのからみで検討すべきであるとの意見がありますが具体的にどのようにお考えですか。

9) プライマリケアとの関連で教育することにより高学年化が図れるとの意見がありますがどうお考えですか。

11) 衛生学・公衆衛生学の学生の評価(及第、落第)については何年次に行なっていますか。

12) 非常勤講師による授業を多くすることについてどのように考えますか。

13) その他、衛生学・公衆衛生学の教育・研究について日頃考えておられることにつきご意見を下さい。

#### 4. 大学院について

- 1) 国公立の協力体制の構築は可能とお考えですか。その理由も合わせてお答え下さい。
- 2) 私学として固有の問題（授業料、閉鎖性など）について議論すべきという意見がありますが具体的に構想をまとめて文部省に提言すべきかどうかについてご意見を下さい。
- 3) 単位の互換性が難しいとの意見がありますがどうお考えですか。
- 4) ガイドラインを作るべきと言う意見がありますがどのように作業を進めたらよいかご意見を下さい。
- 5) 大学院生募集のために、工夫していることがありますか。差し支えなければどのような内容かお知らせ下さい。
- 6) 社会医学系に入学した大学院生の卒後の進路について、これまでの経験（社会医学系に残るか、他に行ってしまうか）、ないし今後の期待をお聞かせ下さい。
- 7) その他連合大学院構想についてご意見があればご記入下さい。
- 8) ありがとうございます。最後にこのアンケートについてご意見、ご感想をお書き下さい。

## 大学への質問票 (大学として一つにおまとめ下さい)

### A. 医学部の衛生学・公衆衛生学教育カリキュラムについて

1. 貴大学においては 衛生学・公衆衛生学関連の授業（講義）は何年生に対して行なっていますか。次のコア・カリキュラムの内容について（細目は別紙参照）、全体のコマ数、時間数、何年次に何時間どこが教育しているかを記入して下さい。（シラバス（教育要項）があれば、該当部分のコピーをお送り下さい。）

カリキュラム	担当講座	非常勤講師の担当	学年 (前後期)	コマ数	時間 (分)	備考
衛生公衆衛生学総論						
健康増進・疾病予防						
人口・保健統計						
疫学総論						
環境保全・環境保健						
食と健康						
保健・医療・福祉制度						
地域保健						
母子保健						
学校保健						
産業保健						
成人・老人保健						
精神保健						
感染症対策						
国際保健						

- 記入要項
- ・「担当講座」は略称可です。
  - ・「非常勤講師の担当」は、[1.あり 2.一部 3.なし]として下さい。
  - ・「学年」は、[1年前、1年後]のようにご記入下さい。
  - ・コマ数は数字で、時間数は[分]単位でご記入下さい。
  - ・カリキュラム項目は、コア・カリキュラムの記載項目としましたが、含まれないものに関しては、別枠をご自分で作成して同様のものを記入していただければ幸いです。

2. 「福祉サービス」の教育カリキュラムについて

人口の急速な高齢化に対し、近年、医療、保健サービスの充実に加えて、福祉サービスの充実が強く求められています。このような状況の中で、医学教育の中でも福祉サービスに関連したカリキュラムの実施が不可欠になっていると思われます。

貴大学の福祉サービス関連のカリキュラムのあり方について、少し詳しく伺います。

1) 福祉サービスに関する講義について、次のうち該当するものを、お答え下さい。

1. 事実上、ほとんど行われていない。
2. 衛生・公衆衛生学の講義の中で行っている。

学年 \_\_\_\_\_ コマ数 \_\_\_\_\_ 時間 (分) \_\_\_\_\_

3. その他

担当講座 \_\_\_\_\_

学年 \_\_\_\_\_ コマ数 \_\_\_\_\_ 時間 (分) \_\_\_\_\_

2) 福祉サービスの施設見学・実習について、次のうち該当するものを、お答え下さい。

1. 事実上、ほとんど行われていない。
2. 衛生・公衆衛生学の実習の中で行っている。

具体的な方法 \_\_\_\_\_

3. その他

具体的な方法 \_\_\_\_\_

3) 福祉サービス関連のカリキュラムについて、次のうち該当するものを、お答え下さい。

1. 極力、充実させる必要がある。  
その場合、担当すべき講座は、1. 衛生・公衆衛生学関連講座  
2. その他 \_\_\_\_\_

2. 一定程度、充実させる必要がある。  
その場合、担当すべき講座は、1. 衛生・公衆衛生学関連講座  
2. その他 \_\_\_\_\_

3. 現状でよい。

4. その他 \_\_\_\_\_

3. 「国際保健」の教育カリキュラムについて

世界は政治や経済の相互依存の時代に入っており、国際協力の充実が強く求められています。このような状況の中で、医学教育の中でも国際保健に関連したカリキュラムの実施が不可欠になっていると思われます。貴大学の国際保健のカリキュラムのあり方について、少し詳しく伺います。

1) 国際保健に関する講義について、次のうち該当するものを、お答え下さい。

1. 事実上、ほとんど行われていない。
2. 衛生・公衆衛生学の講義の中で行っている。

学年 \_\_\_\_\_ コマ数 \_\_\_\_\_ 時間 (分) \_\_\_\_\_

3. その他

担当講座 \_\_\_\_\_

学年 \_\_\_\_\_ コマ数 \_\_\_\_\_ 時間 (分) \_\_\_\_\_

2) 国際保健の施設見学・実習について、次のうち該当するものを、お答え下さい。

1. 事実上、ほとんど行われていない。
2. 衛生・公衆衛生学の実習の中で行っている。

具体的な方法 \_\_\_\_\_

3. その他

具体的な方法 \_\_\_\_\_

3) 国際保健のカリキュラムについて、次のうち該当するものを、お答え下さい。

1. 極力、充実させる必要がある。

その場合、担当すべき講座は、1. 衛生・公衆衛生学関連講座  
2. その他 \_\_\_\_\_

2. 一定程度、充実させる必要がある。

その場合、担当すべき講座は、1. 衛生・公衆衛生学関連講座  
2. その他 \_\_\_\_\_

3. 現状でよい。

4. その他 \_\_\_\_\_

4) 国際保健の大学院教育の必要性について

1. 必要があると思うか。 有る ・ ない

2. もし必要性があると思う場合、どのようなカリキュラムを大学院に要望したいか。

3. その他 \_\_\_\_\_

4. 地域保健実習についてお聞きします。

1) 実施していますか。

実施場所と日数

1. 保健所 \_\_\_\_\_ 日

2. 市町村 \_\_\_\_\_ 日

3. その他 (具体的に \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ 日

2) 実施上の困難がありますか。(複数回答可)

1. 保健所数が減少したため実習場所や日数が不足している。

2. 保健所での学生の指導態勢が不十分である。

3. 市町村での学生の受け入れ態勢が不十分である。

4. その他実施上の困難がある。

(具体的に \_\_\_\_\_ )

5. 特にない

5. 衛生学と公衆衛生学講座ではどのような実習を行っていますか。全員が行っているものに○、一部の学生が行っているものに△をつけて下さい。コメントもお願いします。

1) 1. 医学統計、情報処理、疫学調査などの計算機を使う演習・実習

2. 社会医学、調査、保健所、地域保健医療などの学外実習

3. 環境測定・食品衛生管理などとその評価

コメント.....

2) 1. 環境測定 2. 食品衛生 3. 調査方法 4. 疫学調査 5. 統計情報処理 6. 保健所

7. プライマリ・ケア 8. 市町村保健センター 9. 学校保健 10. 産業保健

11. 健康診断・検診 12. 管理技法 13. その他.....

コメント.....

6. その他以下の授業について実施されている場合はできるだけ具体的にご記入下さい。

(学年、コマ数(時間数)、主な内容、評価方法など)

衛生学実習

公衆衛生学実習

見学

演習

ゼミ

病院管理学

臨床合同講義

集中講義

その他関連すると考えられる授業

B. 大学院について

1) 医学系大学院の定員は何人ですか。そのうち社会医学系の定員は何人ですか。

2) 社会医学系の1998年12月現在の学生数は何人ですか。学年毎にお知らせ下さい。

3) 大学院として独自のカリキュラムを持っておられますか。持っておられる場合は内容をお知らせ下さい。

ありがとうございました。このアンケートについてご意見、ご感想がありましたらお書き下さい。

大学名

授業担当責任者

問い合わせ先

回答送付先：〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1  
順天堂大学医学部衛生学教室 稲葉 裕

## 国家試験問題についてのアンケート調査票

平成10年8月26日

衛生学公衆衛生学教育協議会  
会員各位

## 国家試験問題についてのアンケートのお願い

衛生学公衆衛生学教育協議会  
代表世話人 久道 茂

当協議会の国家試験問題検討委員会では、国家試験に対する考え方をまとめるためにアンケート調査を計画しております。

医療・保健・福祉の一本化が進められ、医療保険財政の根本的な見直しが必要な昨今において、医師としての資格試験に私共は何を基準として何を期待したらよいのか、議論の多い所です。国家試験は医学部学生教育に影響するところも大であることは当然です。社会が求めている医師の教育に、社会医学系教科が果たす役割もまた大きいわけです。

こうした諸般の事情を考え、また常に評価をどのようにしていくかを考える時代的背景を考慮し、平成10年3月25日に行われた世話人会でアンケート調査を行うこととしました。ご多忙とは存じますが、下記の要領でご協力をお願い申し上げます。

### 記

1. アンケート調査に関する問い合わせは下記国家試験問題検討委員会委員までお願いします。

東海大学医学部地域・環境保健系	岡崎 勲 教授
関西医科大学衛生学	徳永力雄 教授
長崎大学医学部衛生学	齋藤 寛 教授
福島県立医科大学衛生学	田中正敏 教授
金沢医科大学衛生学	山田裕一 教授

(順不同)

2. アンケート調査の回答方法

FAXまたは郵送で東北大学医学部公衆衛生学内事務局までお願いします。

東北大学医学部公衆衛生学 辻 一郎 助教授

〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町2-1

TEL 022 (717) 8121 FAX 022 (717) 8125

3. アンケート調査の締切り期日

平成10年9月21日 (月)

## 国家試験問題についてのアンケート調査票

衛生学公衆衛生学教育協議会

以下のアンケート項目にお答えいただく際に、ご多忙とは存じますが、過去3年間の全試験問題に占める社会医学系教科の問題数（資料1）および試験問題（資料2）をご覧下さい。また過去の項目別出題分野分析（資料3）も参考にして下さい。

1. 社会医学系教科としてどのようなことを医師の資格試験として期待しますか。  
先生の基本的なお考えをお教え下さい。

2. 現在の医師国家試験の受験資格は、社会医学系教科を教える立場からみて十分でしょうか。

- ① 今後の医師国家試験の受験資格に保健所実習をどう考えるべきでしょうか。

以前には保健所実習がインターンで義務づけられていた時代もあります。新しい地域保健法の施行などで時代は変わってきています。

- ② 衛生学・公衆衛生学実習：各大学がそれぞれ独自の考えで行っている実習について何らかの方法で実際にその実習を行ったかなどを受験資格に入れるとか、何かお考えがあればお教え下さい。

3. 今後の医師国家試験の在り方として提言するにあたって

- ① 今のような試験のやり方でよいのか、先生のご意見をお書き下さい。

- ② 現行のガイドラインについて、不足・不適切と考えられる項目がありますか。

③ 1997年度の医師国家試験からいわゆる必修問題などと呼称されている問題がD区域に出題されるようになりました。D区域については80点以上の正解が要求されるということです。ただし点数については正式の発表はなく、非公式の情報です。また禁忌肢と称する選んではいけない選択肢があり、これをある程度以上選ぶと不合格になるとのことです。第92回医師国家試験のD問題には社会医学の出題はみられませんでした。今後のD問題のような出題について先生のご意見をお書き下さい。

④ 将来に向かって医師国家試験のどこをどう改革すべきだと考えますか。

⑤ 欧米の試験制度との対比で如何ですか。

- ⑥ 厚生省は配点その他の医師国家試験に関する事項と結果を公表していません。このことはそれで良いですか。先生のご意見をお書き下さい。

4. 医師国家試験の中で社会医学系教科がどのくらいの比率で出題されるべきと考えますか。資料1を参考にA, B, C, D, E, Fに分けてお答え下さい。

- A (            ) %  
B (            ) %  
C (            ) %  
D (            ) %  
E (            ) %  
F (            ) %

5. 下記の項目のうち医師国試で取り上げるべき最も重要なものを5つ選んで下さい。  
(参考、資料3)

- (    ) 衛生法規
- (    ) 医の倫理
- (    ) 医療科学
- (    ) 福祉
- (    ) 疫学
- (    ) 医療・保健・福祉の統計
- (    ) 母子保健
- (    ) 学校保健
- (    ) 成人保健 (含老人保健)
- (    ) 精神保健
- (    ) 産業保健
- (    ) 地域保健

- ( ) 新興および再興感染症
- ( ) 国民栄養
- ( ) 食品衛生
- ( ) 環境保健・地球環境
- ( ) その他〔具体的に： ]

6. 下記の項目は最近大きな話題となっている問題です。これらの問題を出題することについて、先生のお考えを教えてください。またこれ以外にも問題とすべき項目があれば、あげてください。

①時事的・社会医学的問題（医療保険制度、HMOなど）

②介護保険制度（目的、社会的背景、実施方法など）

③最近話題の環境問題（地球環境問題、環境ホルモンなど）

④その他問題とすべき項目

7. 過去3年間の社会医学関連の国試問題（資料2）について下記観点から、先生のお考えを教えてください。

①問題の妥当性

1) 内容（ガイドラインの範囲内か否か、内容それ自体が疑問など）

--

2) 難易度

--

3) 必要度

--

②問題作成の技術面

--

③その他

--

8. 其他のご意見をお書き下さい。

\_\_\_\_\_大学 \_\_\_\_\_教室

教授名 \_\_\_\_\_